

まっど・もっど

令和3年度
深溝小ホームページ通信
4年2月 3日(木)
No.158



伝統のバトン



本日、今年度最後の通学団会が行われました。来年度の分団長、副分団長を決めたり、新しく入学してくる1年生に手紙を書いたりしました。卒業が近づくとともに、だんだんと6年生から5年生へといろいろな役割が渡されていきます。先輩から後輩へ、深溝小学校の伝統のバトンが受け継がれていきます。



→通学団会では、来年度に向けて、新一年生の人数や集合場所を確認しました。



→体育ではサッカーの授業が行われています。みんな元気にボールを追っていました。

季節の分かれ目

＜2月3日の給食＞

- ・ごはん ・牛乳 ・みぞれ汁 ・節分豆
- ・いわしの蒲焼 ・キャベツのゆかりあえ

本日の給食は「節分献立」でした。無病息災を願い、このような風習が日本にはあります。明日2月4日は立春です。いよいよ季節は春を迎えます。

～どうして「イワシ」を食べるの？～

昔から節分の際、焼いたいわしの頭にヒイラギの枝を刺したものを玄関に飾る風習がありました。イワシを焼くときにでる煙と強い臭いで邪気を追い払い、尖ったヒイラギで鬼の眼を刺すという魔除けや厄払いの意味があるといわれています。